

新技術講演会のご案内

岐阜県産業技術総合センターでは、「モノづくり産業の技術支援拠点」を目指し、様々な産業・業界に対し、ニーズやシーズを踏まえた有望な新技術を紹介しています。

このたび、岐阜県の地場産業である石灰資源について、未利用資源となっている「微粒子炭酸カルシウム（石灰石）」の有効活用と、セメント製造における石灰石の利活用とカーボンニュートラルの取り組みについて、新技術をご紹介します。これらの技術は、石灰業界のみならず、窯業・土石の業界、あるいは石灰を使用する土木やセメント業界等にも多めに参考になると思います。是非とも多くの方のご参加をお待ちしております。

- ■ 主 催 ■ ■ 岐阜県産業技術総合センター
- ■ 日 時 ■ ■ 令和5年3月7日（火） 13:30～15:00
- ■ 参加費 ■ ■ 無 料
- ■ 形 式 ■ ■ オンライン開催 Zoomウェビナー

◆◆◆◆◆◆◆◆ プ ロ グ ラ ム ◆◆◆◆◆◆◆◆

- 1. 主催者あいさつ 13:30～13:35
- 2. 講演 13:35～15:00

『コンクリート業界におけるカーボンニュートラルの取り組み～石灰石の積極的な利用～』

芝浦工業大学工学部 先進国際課程（兼務 土木工学科）教授 イヨダ タケシ 伊代田 岳史 氏

環境保全のために、世界的にカーボンニュートラル社会への移行が進みつつある。しかしながら、コンクリートの原料であるセメントの製造プロセスにおいては、焼成に伴う化石燃料の燃焼、加えて石灰石の脱炭酸によって大量の二酸化炭素が排出されている。一方で、コンクリートはセメント水和物が二酸化炭素と反応することで炭酸カルシウムを生成することから、二酸化炭素を吸収できる材料として、注目が高まりつつある。我々の研究グループはセメント製造における二酸化炭素排出の抑制とコンクリートによる吸収・固定を積極的に進めて、カーボンニュートラル社会への貢献を目指している。また、コンクリートの添加材として石灰石や石灰石微粉末の有効利用による長寿命化への取り組み、さらに解体コンクリートに二酸化炭素を吸収させることを目的とした新たな再生骨材としての利用などの研究を進めている。本講演では、石灰石とコンクリートの関わりについて解説する。

■ ■ 問い合わせ ■ ■

岐阜県産業技術総合センター 化学部 茨木、藤田 TEL 0575-22-0147
〒501-3265 岐阜県関市小瀬 1288 FAX 0575-24-6976

■ ■ ■ 申し込み方法 ■ ■ ■

下記申込書にご記入の上、FAX又はメールにてお申し込みください。

申込期限：令和5年2月22日（水） * 申込み多数の場合は先着順（100名）とさせていただきます。

○講演会当日までに視聴用URLをメールでお知らせしますので、E-mailを記入ください。

○本セミナーの録音・録画を禁止します。

岐阜県産業技術総合センター 化学部 新技術講演会 参加申込書 開催日：2023/3/7(火)

企業・機関名		連絡先	TEL
住 所			FAX
所属部課・役職 等	氏 名	メール	

* 氏名等の情報について、第三者に情報を提供することはありません。

◎申込先 メール seminar_c00@gitec.rd.pref.gifu.jp 宛 先 化学部 茨木 宛